



BroadBand Tower, Inc.

株式会社ブロードバンドタワー

(証券コード：3776)

2016年6月期

事業報告会説明資料

2016年9月16日

2016年6月期 通期決算概況

コンピュータプラットフォーム

- ◆ 当社(ブロードバンドタワー)
- ◆ BBTOWER SAN DIEGO INC.
当社所有割合100%
IoTビジネスの海外拠点
- ◆ エーアイスクエア
当社所有割合100%
人工知能関連ビジネス
- ◆ グローバルIoTテクノロジー
ベンチャーズ
当社所有割合93.3%
IoT関連ビジネス

ファッションビジネスプラットフォーム

- ◆ ビービーエフ
当社所有割合58.3%
ECシステム構築支援・運用サービス
TVショッピング支援サービス
- ◆ ブランチ・アウト
ビービーエフ所有割合100%
ファッションホールセールサービス
- ◆ 上海布藍綺国際貿易有限公司
ビービーエフ所有割合100%
中国におけるファッションホールセールサービス

持分法適用関連会社 (3社ともセグメントはコンピュータプラットフォーム)

◆ Lyudia

本年4月に株式を一部譲渡、当4Qより持分法。
当社所有割合30%。決済関連ビジネス

◆ 米国EverySense, Inc.

当社所有割合25%
IoT関連ビジネス

◆ キャンパスナビTV

当社所有割合37.2%
動画配信関連ビジネス

2016年6月期 通期業績概況(連結)

(単位:百万円)	2015年6月期 実績	2016年6月期 実績	前期比	
			金額	増減率
売上高	31,697	34,788	3,091	9.8%
売上原価	26,399	28,813	2,415	9.1%
売上総利益	5,298	5,975	676	12.8%
(利益率)	16.7%	17.2%	-	-
販管費	4,529	5,317	788	17.4%
営業利益	769	657	△112	△14.5%
(利益率)	2.4%	1.9%	-	-
経常利益	758	553	△205	△27.1%
(利益率)	2.4%	1.6%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	58	△9	△68	-
(利益率)	0.2%	-	-	-

ビービーエフグループの売上げ拡大

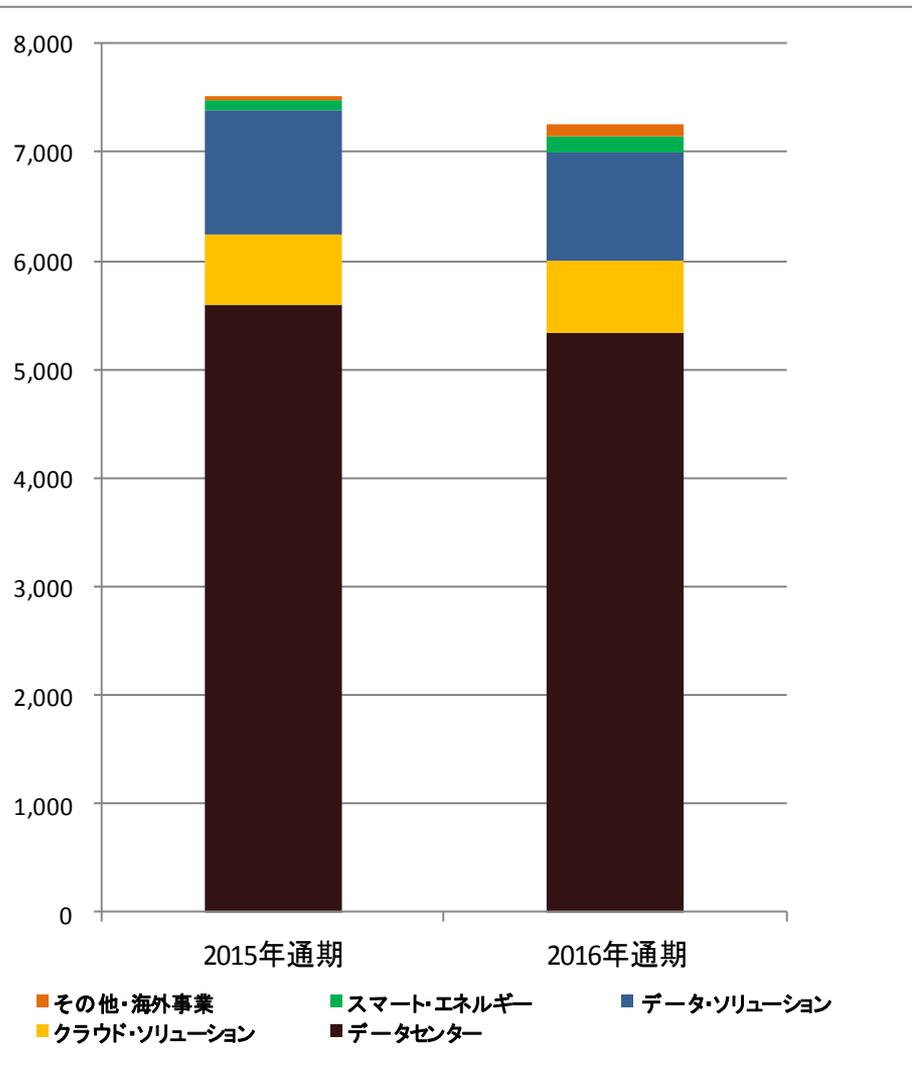
ビービーエフグループの売上げ拡大に伴う売上原価の増加

- ・ブロードバンドタワー：新規事業への先行投資（人件費、広告宣伝費等）
- ・ビービーエフ：売上げ拡大に伴う業務委託費等の増加

営業外費用に為替差損39M、持分法投資損失64Mを計上

特別損失に減損損失284Mを計上、繰延税金資産の取崩し196M

(単位: 百万円)



コンピュータプラットフォーム事業 7,232百万円 (前年同期比△271百万円)

その他・海外事業: 103百万円 (前年同期比+67百万円)
⇒ スポット案件により増収

スマート・エネルギー: 148百万円 (同+42百万円)
⇒ みなかみの月数差、日光の売電開始

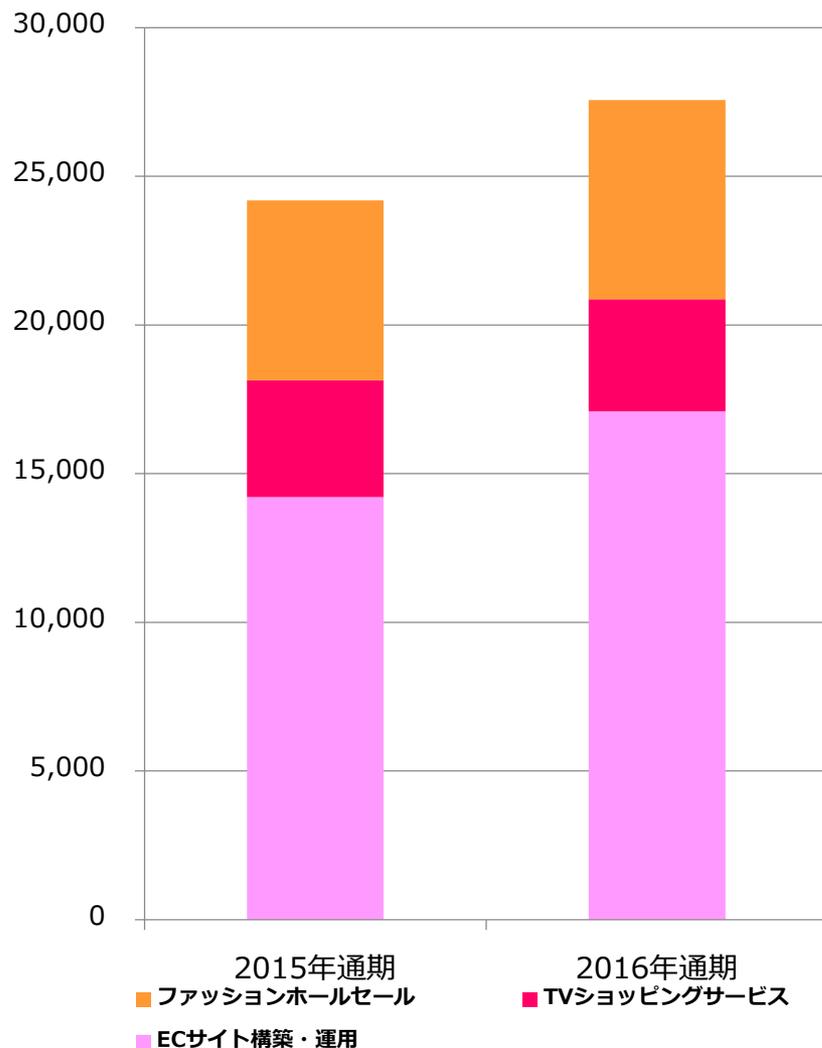
データ・ソリューション: 1,012百万円 (同△130百万円)
⇒ 新製品Scalityの売上あったがIsilon減収

クラウド・ソリューション: 656百万円 (同+9百万円)
⇒ サービスラインアップの拡充により増収

データセンター: 5,337百万円 (同△257百万円)
⇒ 第2サイトサービス終了の影響により減収

※売上高は内部振替調整前の数値にて表記

(単位：百万円)



ファッションビジネスプラットフォーム事業
27,556百万円 (前年同期比3,362百万円)

ファッションホールセール：6,701百万円 (前年同期比+652百万円)
⇒しまむら向け売上げ増加、商品企画・販促企画が奏功

TVショッピング支援：3,767百万円 (同△166百万円)
⇒QVC向けの売上高が減少

ECサイト構築・運用：17,092百万円 (同+2,883百万円)
⇒既存ブランドの売上拡大が牽引
サイト数は84→87へ

※売上高は内部振替調整前の数値にて表記

2016年6月期 通期要約BS・CF(連結)

(単位：百万円)

	2015年 6月末	2016年 6月末		2015年 6月末	2016年 6月末
現金及び預金	5,006	4,822	買掛金	2,691	2,937
受取手形・売掛金	3,294	3,629	1年内長期借入金	1,044	1,463
有価証券	2,099	1,599	未払法人税	172	248
商品及び製品	728	800	その他	1,367	1,375
繰延税金資産	119	126	流動負債合計	5,275	6,025
その他	319	350	長期借入金	1,698	984
貸倒引当金	△4	△4	その他	1,038	875
流動資産合計	11,564	11,325	固定負債合計	2,736	1,859
有形固定資産	1,992	2,538	負債合計	8,012	7,884
無形固定資産	840	452	株主資本合計	7,112	7,756
投資その他の資産	1,379	1,970	その他包括利益 累計額	4	△121
固定資産合計	4,212	4,962	新株予約権	25	13
			非支配株主持分	621	754
			純資産合計	7,764	8,402
資産合計	15,776	16,287	負債純資産合計	15,776	16,287

(単位：百万円)

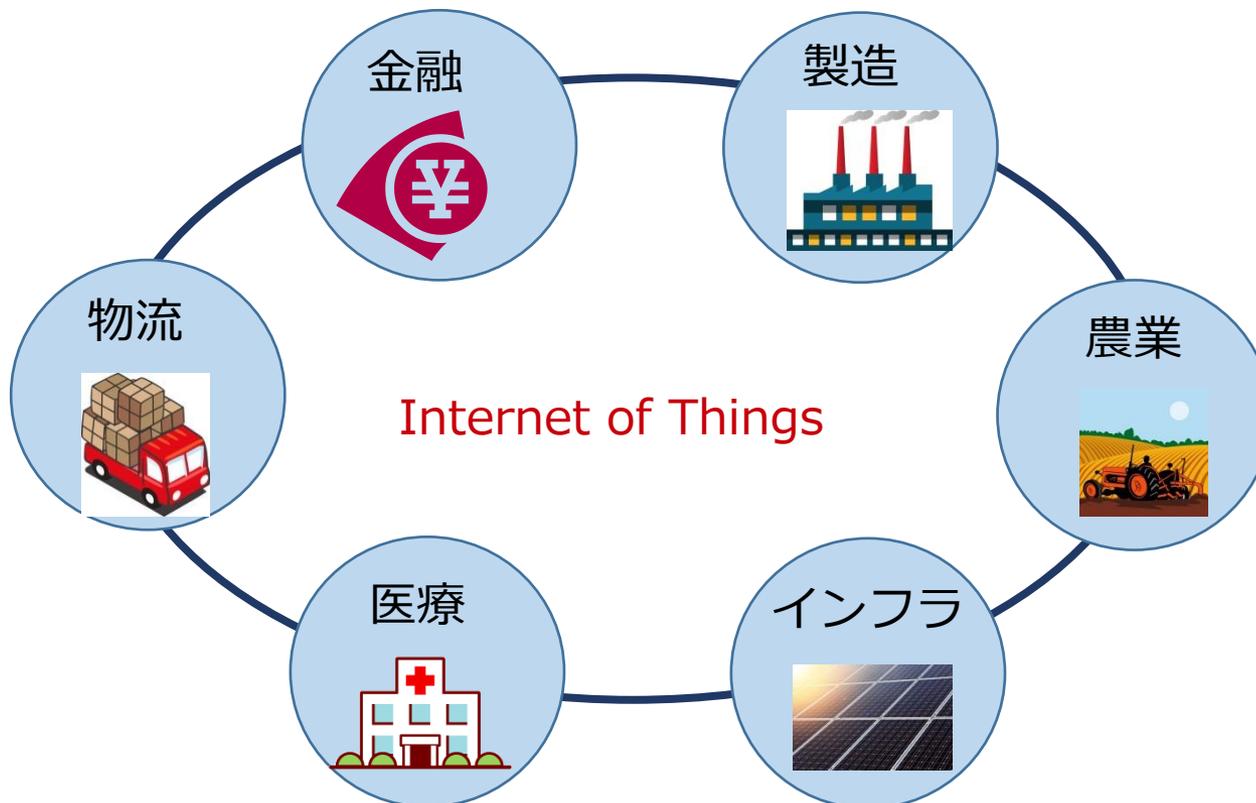
	2015年6月期 通期実績	2016年6月期 通期実績
営業活動CF	1,441	741
投資活動CF	△475	△1,661
財務活動CF	1,775	299
現金及び現金同等 物の期末残高	6,956	6,227

【キャッシュ・フロー主な内訳】

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
 - 税金等調整前当期純利益 777百万円
 - 減価償却費 403百万円
 - 減損損失 284百万円
 - 関係会社株式売却益 △521百万円
 - 法人税等の支払額 △333百万円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
 - 有形固定資産の取得による支出 △558百万円
 - 投資有価証券の取得による支出 △825百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
 - 長期借入金の増減 △294百万円
 - 自己株式の処分による収入 511百万円
 - 配当金の支払額 △172百万円

目指す姿・展開について

➤ IoT/ビッグデータ/AI時代の到来



➤ インターネットビジネスの主戦場は上位層へ

上位層

コンテンツ・アプリ

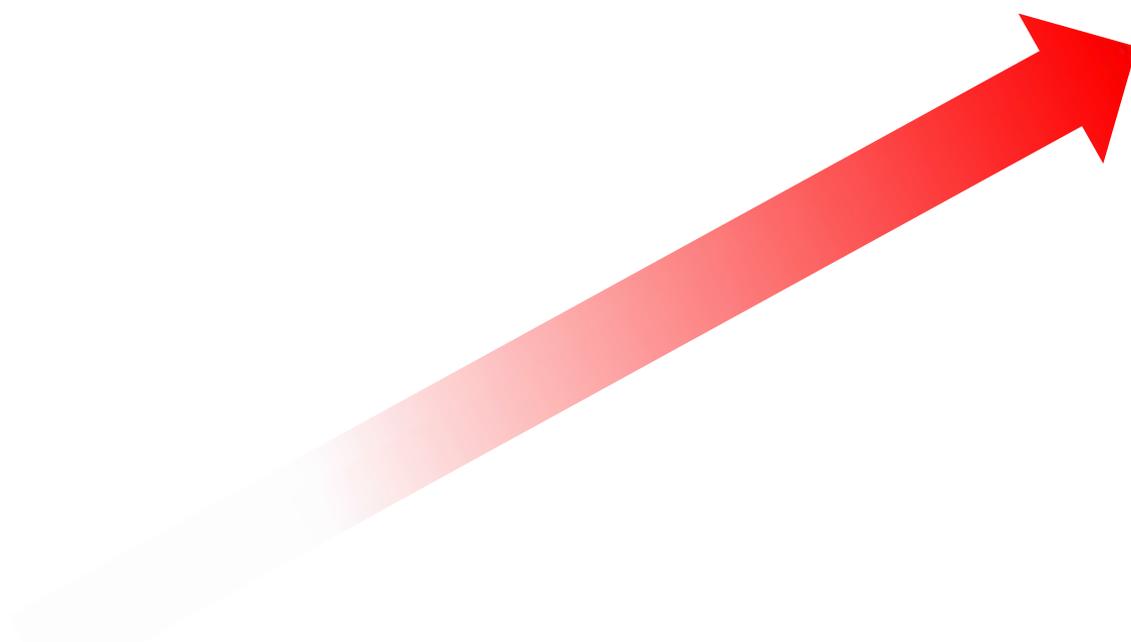
プラットフォーム

クラウド

データセンター

通信キャリア

下位層



アジアNo.1
データセンター・クラウド・
ストレージ技術を有する
IoT/B2Cサービス企業へ

ポータルサービス向け
専業インターネット・データセンター

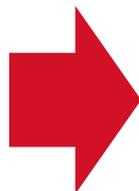
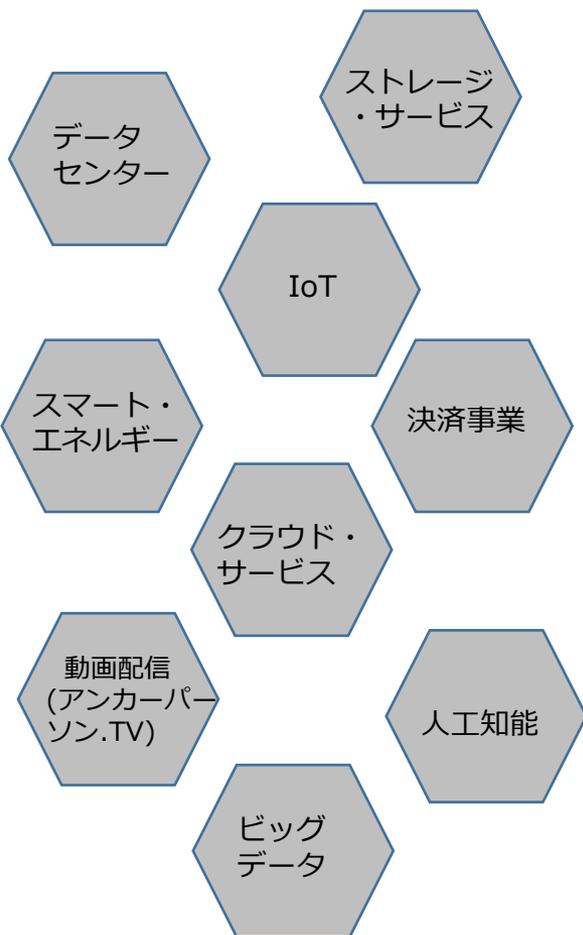
既存事業を深化

サービスを
繋げる

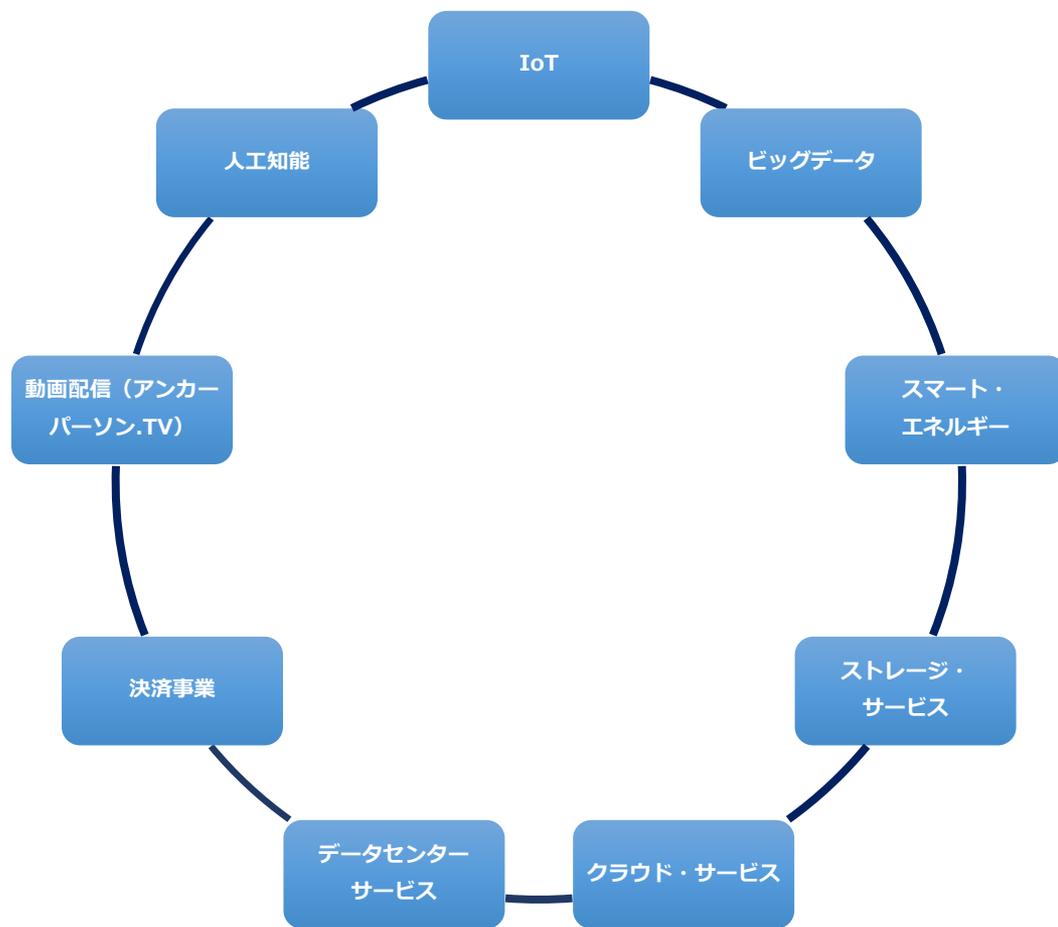
新規事業を進化

ブロードバンドタワー
グループ固有の
付加価値を創出し提供

従来の姿



今後の姿



新規事業・サービスについて

アプリ
ケーション

製造

流通

金融

医療

エネルギー

農業

コンシューマー

当社が注力する領域

IoTプ
ラット
フォーム

データ収集

データ蓄積

データ処理

データ分析

データ連携

センサー
ネットワーク

近距離無線

Wi-Fi

有線LAN

センサー/
デバイス



- ▶ 東京大学生産技術研究所と共同で実証実験
⇒住環境・生活の質向上のためのデータ収集等

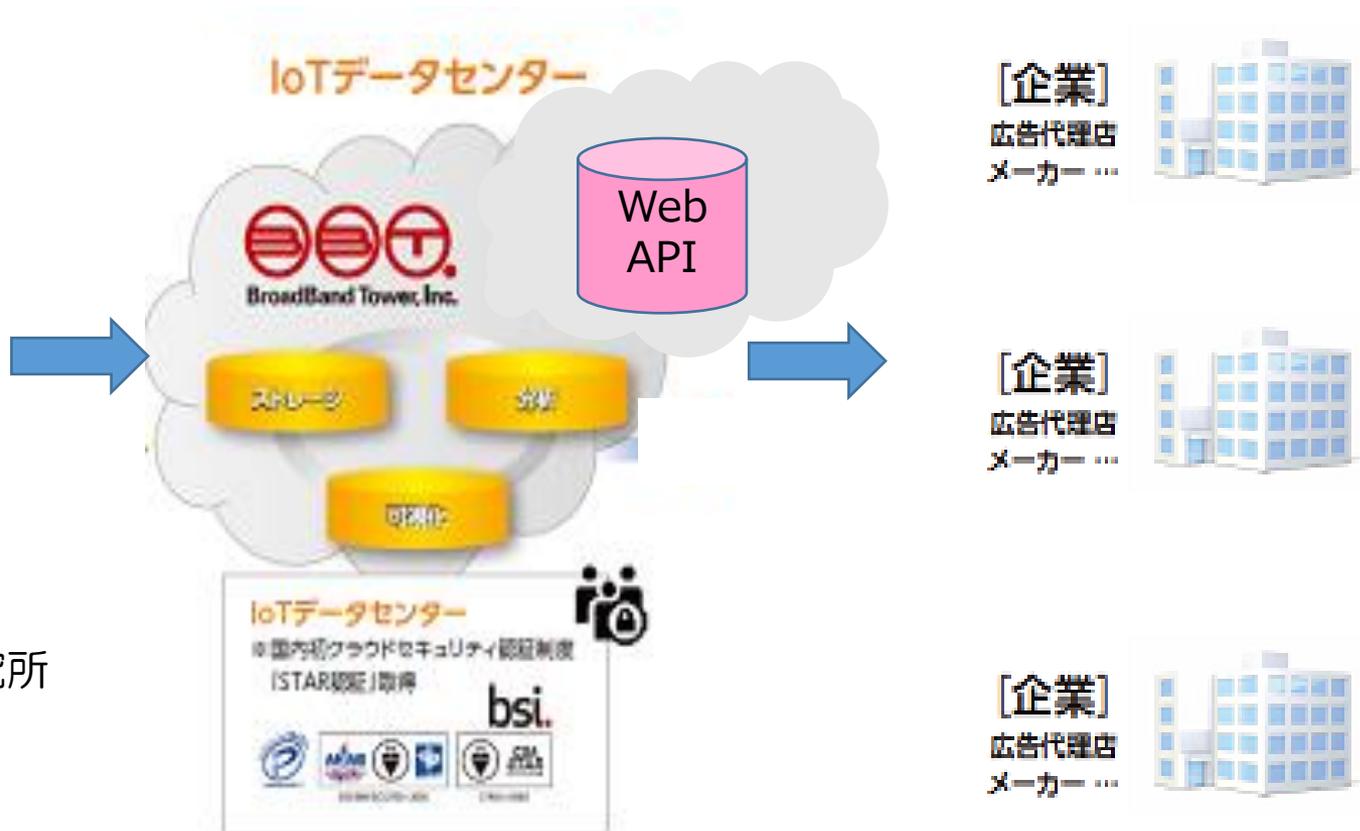
データ収集

データ蓄積

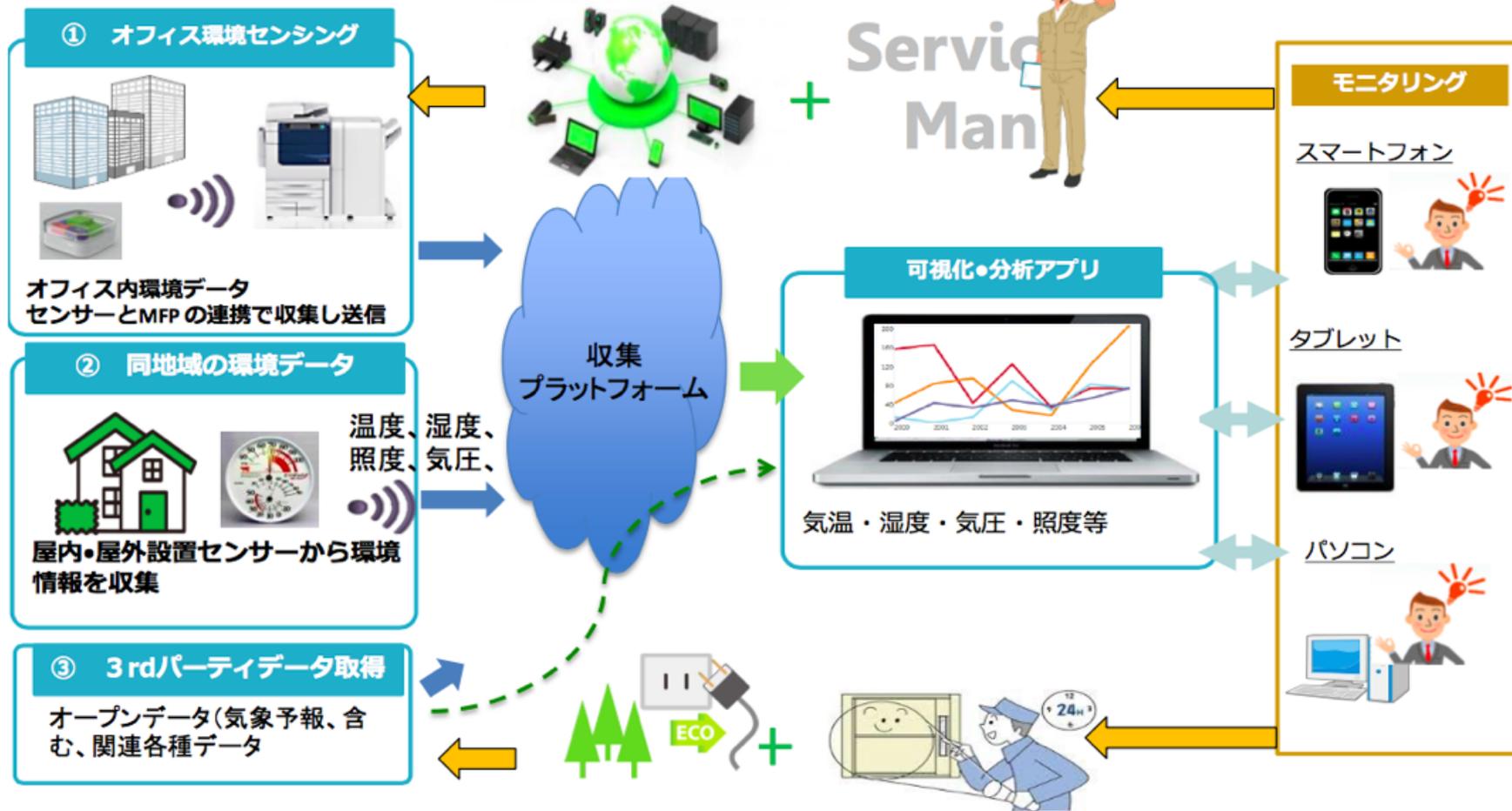
データ分析



「COMMAハウス」
東京大学生産技術研究所
実証スマートハウス
(東京都目黒区駒場)

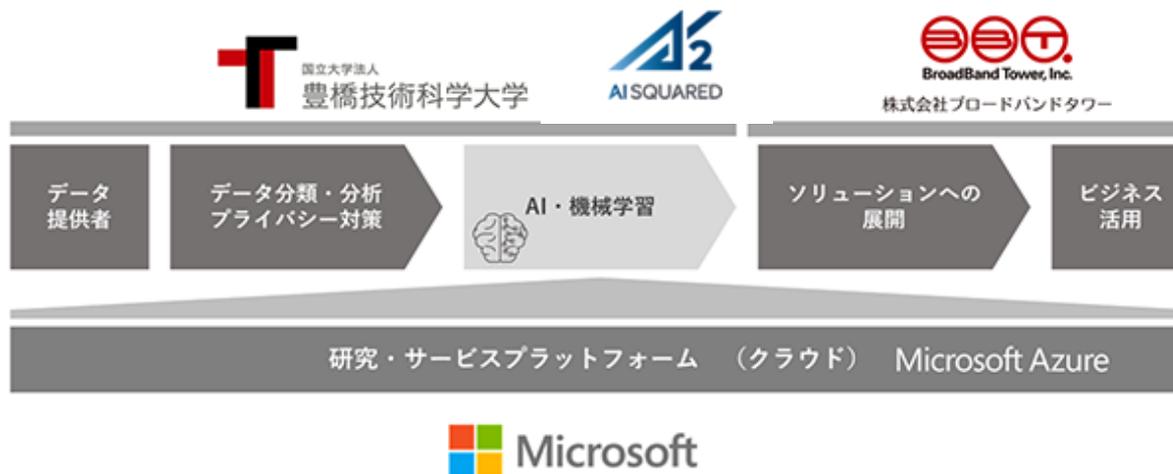


➤ オフィス内環境モニタリング実証実験

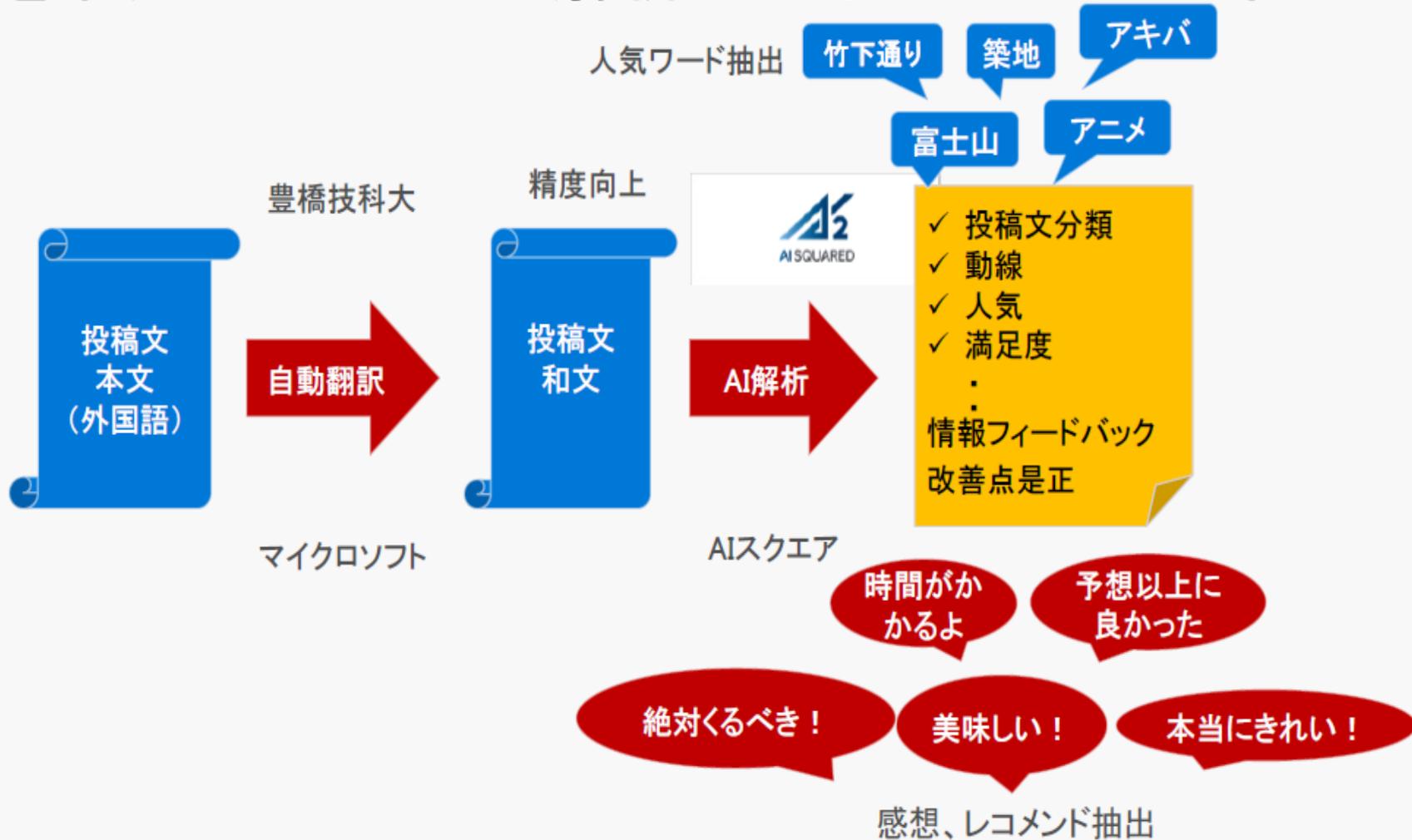


エブリセンス：IoTプラットフォーム提供、高砂熱学工業(株)：空調機器データ収集協力
 富士ゼロックス(株)：複合機ネットワーク、屋内環境データの収集支援
 (株)リコー：複合機ネットワーク、屋内環境データの収集支援

- ▶ 連結子会社エーアイスクエアを中心にAI事業を推進
 - ✓ 自然言語解析技術を利用し、国内初となるAIコンタクトセンターのサービス開始に向け基盤整備中
 - ✓ インタープロテイン社（創薬ベンチャー）と創薬の開発を共同で開始
 - ✓ AI・機械学習を活用した多言語コミュニケーションの実現に向け、豊橋技術科学大学、日本マイクロソフトと協働を開始



AIを活用したテキスト解析によるインバウンド促進へ



ITの利便性と
TVの信頼性を
融合

そのジャンルに
精通した人

=

アンカーパーソン

✓ サテライトスタジオをオープン

原宿竹下通りにサテライトスタジオ「竹下通りスタジオ」
略して『タケスタ』をオープン



✓ コンテンツの拡充

「藤原洋のサイエンス・カフェ ガリレオ・ガリレイ」を配信
(サイエンス界からノーベル賞受賞者等の著名人を招き、
最先端技術の研究内容等についての対談模様を配信)



ネットシネマ ● ゴールデンエッグ

原宿・竹下通りにある“ANPACA.TV”スタジオにて、俳優・タレント・アーティスト等で編成される7チームが、ネット配信ならではの個性ある内容で、週1回更新で配信。

上記配信とは別に、個性のあるネットシネマ（15分）の映像作品を、各チームで制作し、11月下旬に、約1週間渋谷・ユーロスペースにて、レイトショー上映で競い合い、

新しい才能の発見・育成 = 金の卵の発掘

を目的とします。

映画館で上映後の12月には本サイトにて配信。
上映作品の中から、サポーター（監督・プロデューサー等）が最優秀俳優賞・作品賞を選び、選ばれた作品は“ANPACA.TV”内ネットシネマ枠にて配信。

2016年7月11日オープン

運営:(株)ブロードバンドタワー

企画・運営統括:(株)フレッシュハーツ

ペレッツ・ラビ工学長と



- ◆ **テクニオン・イスラエル工科大学の「Friends of Technion Member 日本代表」に就任し、同大学発ベンチャーの関する『国内での第一優先・独占実施権』を取得。**
- ◆ 同大学は、1912年創立にされたイスラエル最古・最高峰の立工科大学で、設立初期には、アインシュタインが中心とナチスのヨーロッパ・旧ソ連から逃れてきた約10万人のや技術者と共に、研究活動を推進・実施し、マサチューセッツ工科大学（MIT）と肩を並べる**世界最高の研究・教育水準を誇る大学。**
- ◆ また、同大学は、**大学病院及び医学部があるという点で、MITとは異なる特色を有しており、この大学から生まれた技術は、医療、電子工学、コンピューターサイエンス、自然科学など、あらゆる理系分野において、商業化、実用化が図られています。**なお、これまで、米国NASDAQに、同大学から生まれた70社以上の企業が上場を果たしているという事実は、こうした実績の表れ。
- ◆ 現在、同大学は、合計18の学部及び教育機関を擁し、ノーベル賞の受賞者2名も教鞭をとるほか、世界中の多くの一流企業（マイクロソフト、Google、Apple、Facebook、Intel、Philips、Siemens、etc.）が、同大学の**人材を囲い込むなど、優れた学生・研究者の輩出機関としても、注目を集める。**

世界各地のFriends of Technion

Argentine、Australia、Austria、Brazil、Tronto、Quebec、France、Belgium、Geneva、Monaco、Germany、Greece、香港、Italy、Mexico、Holland、Sweden、Swiss、U.K.、New York、Missouri、Pennsylvania、Massachusetts、San Francisco、Silicon Valley、Florida、Mainland、Washington D.C.、Chicago、Los Angels、京都、東京

世界のFriends of TechnionからTechnionにもたらされたお金

2014年 USD 97.8 Million(125円換算で約122億円)

世界中の企業からTechnionに提供される研究資金総額

2014年 USD 86.3 million(125円換算で約108億円)

総生徒数

(学士:9,960人、Master:2,886人、Ph.D.:1,078人)Total:13,926人

学部

宇宙工学、都市工学、都市設計、生物学、生物医学工学、Bio-Technology、食料工学、Chemical Engineering、化学、土木工学、環境設計、Computer Science、技術教育、電気工学、産業工学、材料化学、数学、Mechanical Engineering、医学、応用化学、物理、一般工学

Electronical Engineering が²2,135名、Computer Scienceが¹1,624名、土木環境工学が¹1,660名、Mechanical Engineeringが¹1,153名、医学が¹1,090名

Technion大の特許料収入

年間約50億円(比較 京都大学:約1億円)

起業

Technion大卒業生の起業数: 1,602社
 Technionの教授、助教授の技術をBaseにして設立された会社数: 134社
 Technionの卒業生が海外で社長をしている会社数: 169社
 これらの会社によって雇用されている人数: 95,500人
 これらの会社によって調達された資金総額: USD 6.5 billion (日本円125円換算で)

少なくとも1回は起業するTechnion卒業生の割合: 68.4%
 2回起業したTechnion卒業生の割合: 20.8%
 最大29回起業した卒業生の割合: 0.1%
 3回起業: 7.1%

Technion大卒業生の起業分野別

Medical: 24%、IT: 22%、通信: 20%、インターネット: 11%、Semi-conductor: 8%

学術的ランク

Technion大と世界の大学との共同研究テーマ数:
 Harvard大: 185、MIT: 158、Stanford: 123、Tronto大: 123、Michigan大: 116、Colu
 世界のTop科学雑誌におけるTechnion大の出版割合: 2014年 32%

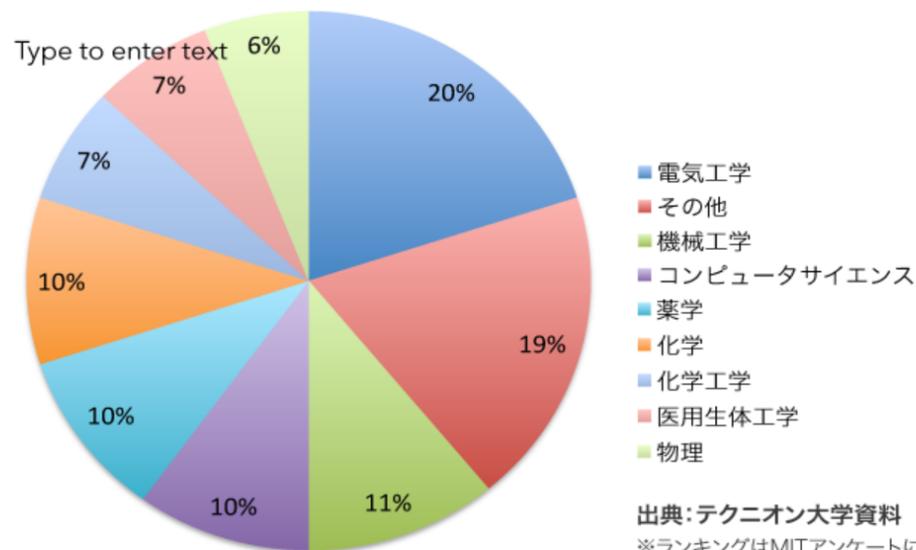
技術ライセンス

2014年のTechnion大技術License契約 対企業 43個(うち、対GEが8個、対Applied Materialsが8個)

Faculty

(教授、助教授: 556名、医師: 321名) 合計877名が教授陣
 最近10年で教授陣を最も増やした学部順:
 Bio Technology、Bio Medical Engineering、Biology、Medical、Mechanical Engineering、Medicine

テクニオン工科大学は全世界の大学ランキングで
 イノベーションと起業分野において世界6位!



第一優先権取得したテクニオンとは？④

経営陣

Technionには理事会という制度はなく、学長以下6名のVice Presidentが最高経営責任者である。この前日本に来たBoaz Golanyはその一。

Start-ups

2014年Technion Start upはTotalで70億円の資金調達に成功。それらStart-upはReWalk Robotics、Applied New technologies、Abraham Farmer、Cortica

Technion自身が学生に提供するAngel Fund

T Factor、これは主にITのStart upに投資

Alfred Mann、これは主にLife Science、Biotechnology、Pharmaceuticalに投資

2014年 15の産学共同研究。共同研究先企業はSun Pharmaceutical、GE、eLPIT、Applied Materialsなど。

Technion大主催の起業コンペ Victech 過去10年で122の起業 Total \$100 millionの資金調達に成功

Medical Start-up特訓コース

3日間の不眠不休の集中特訓、講師はSilicon Valley、FDA元審査官 Angel、Venture Capital 成功、したMedical Start-upの先輩

上場

NASDAQ上場Technion大卒業生企業 70社以上

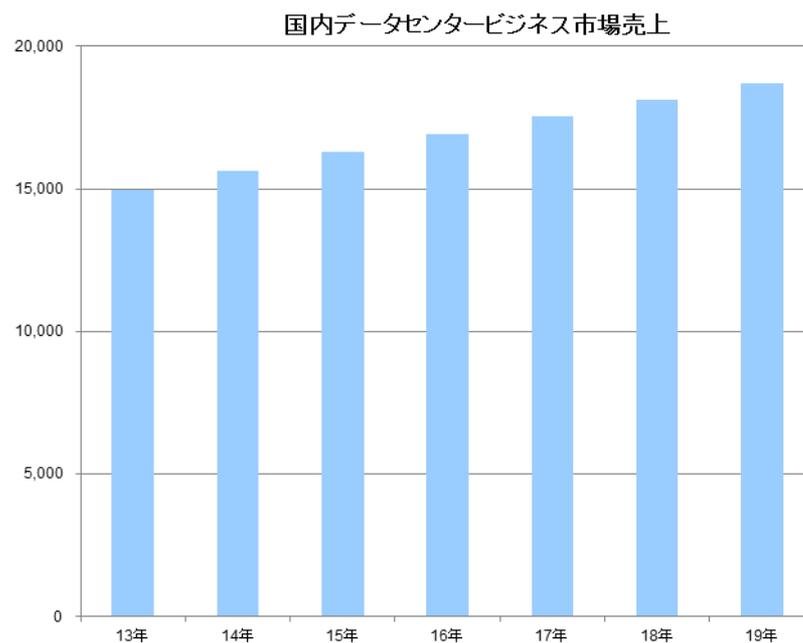
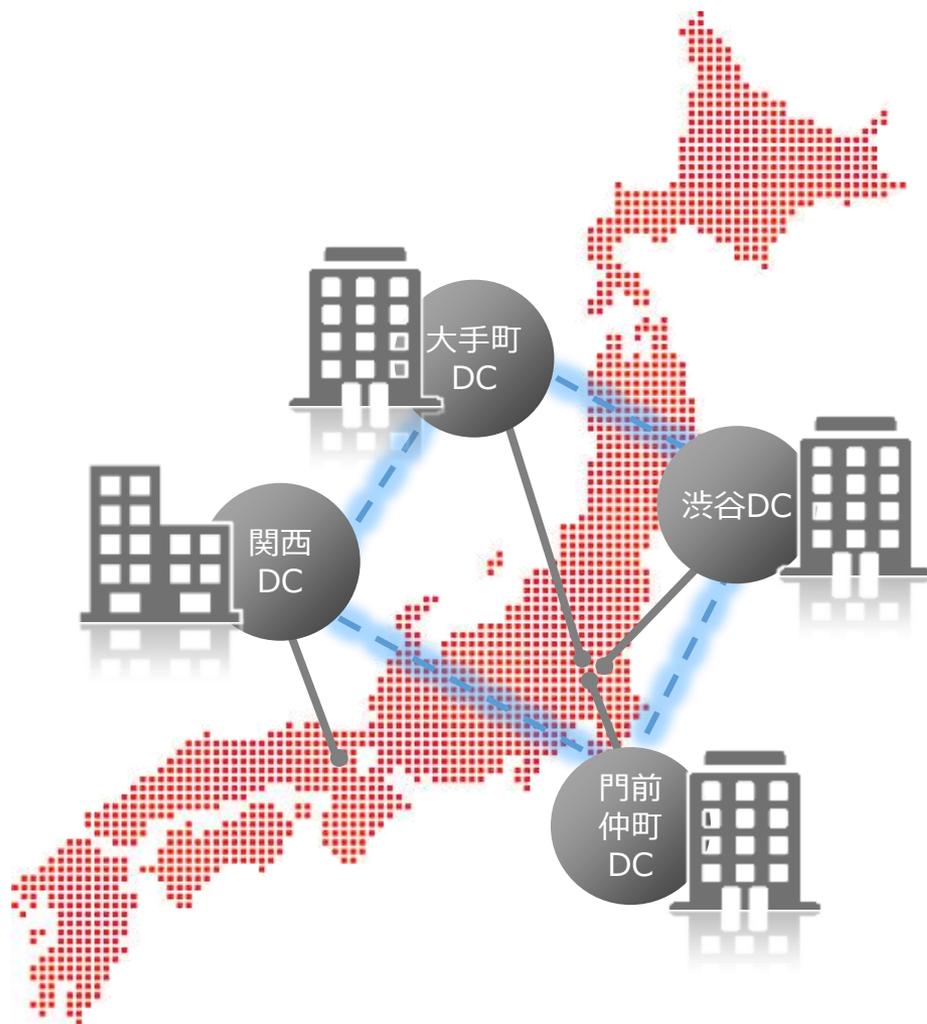
大学全体に資金提供している企業の一覧
(1社10億円以上)



既存事業・サービスについて

➤ 当社固有の特長を訴求し営業活動を展開

- ✓ 高品質なネットワークを有し、高速で広帯域なインターネット接続環境を提供
- ✓ 回線提供者に制約を設けないキャリアニュートラル



(出所：富士キメラ総研 2015年版)

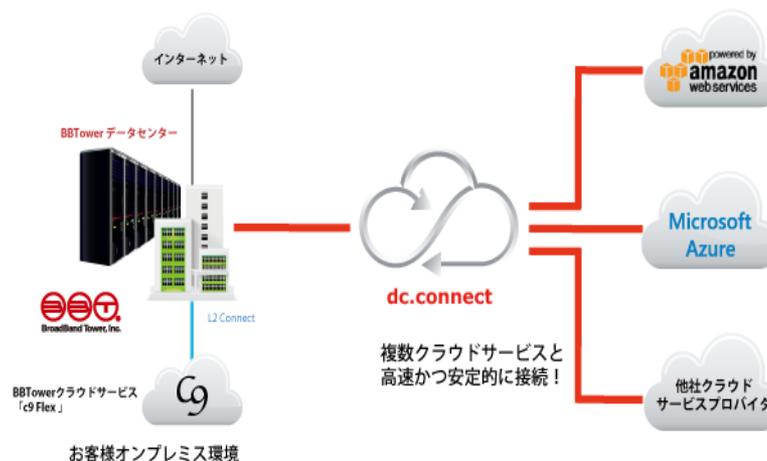
➤ 顧客ニーズに合わせてサービスラインアップを拡充

- ✓ c9 (シーナイン)をはじめ、高速かつ安定したネットワーク接続、成熟したセキュリティなど、柔軟なインフラ基盤を実現
- ✓ クラウド事業者のセキュリティ成熟度を第三者が評価する制度である「STAR認証」の「ゴールド」レベルを取得しており、強固なセキュリティ環境を整備

監視サービス



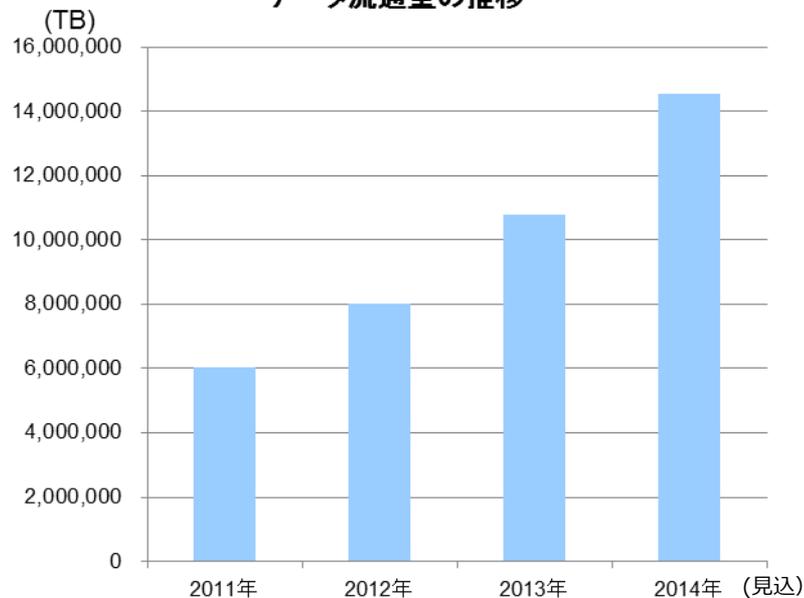
dc.connectサービス



- ▶ 当社は国内ストレージソフトウェア市場で2割のシェアを誇るEMC社の販売代理店
- ▶ データ量の増大に伴い市場拡大が見込まれるSDS製品Scalityを投入



データ流通量の推移



(出所：平成27年版 情報通信白書)

- 第3発電所（日光細尾）の開設により、ITとエネルギーの融合を加速

電力供給の制約
(東日本大震災後)

電力小売り・発電の
自由化

ITや蓄電池等の技術を活用したエネルギーマネジメントシステムが必要

太陽光発電（山口県防府市、群馬県みなかみ町、栃木県日光市）により、
発電量等のデータを蓄積

ITとエネルギーの融合

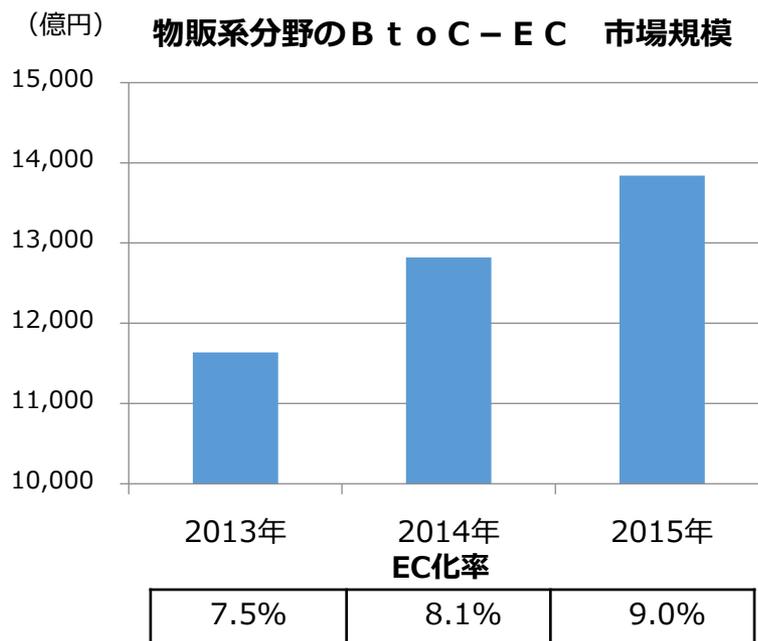
発電効率の向上、エネルギー需給の管理を実現



- EC市場の規模拡大、EC化率の上昇が追い風
 - ✓ インターネットの利用により、膨大な選択肢の中から自分の好みの商品を容易に探索
 - ✓ 購入履歴のある品物を中心にリピート購入が増加
 - ✓ 女性を中心にファッションコーディネートアプリの利用者増加



市場の規模拡大を背景に、
アパレル分野の豊富なノウハウを活用し、
顧客ブランドの要求に応え続ける



出所：平成27年度電子商取引に関する市場調査（経産省）

(単位：百万円)	2016年6月期実績	2017年6月期予想	増減	
			金額	増減率
売上高	34,788	35,500	712	2.0%
営業利益	657	900	243	36.8%
経常利益	553	900	347	62.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	△9	300	309	-

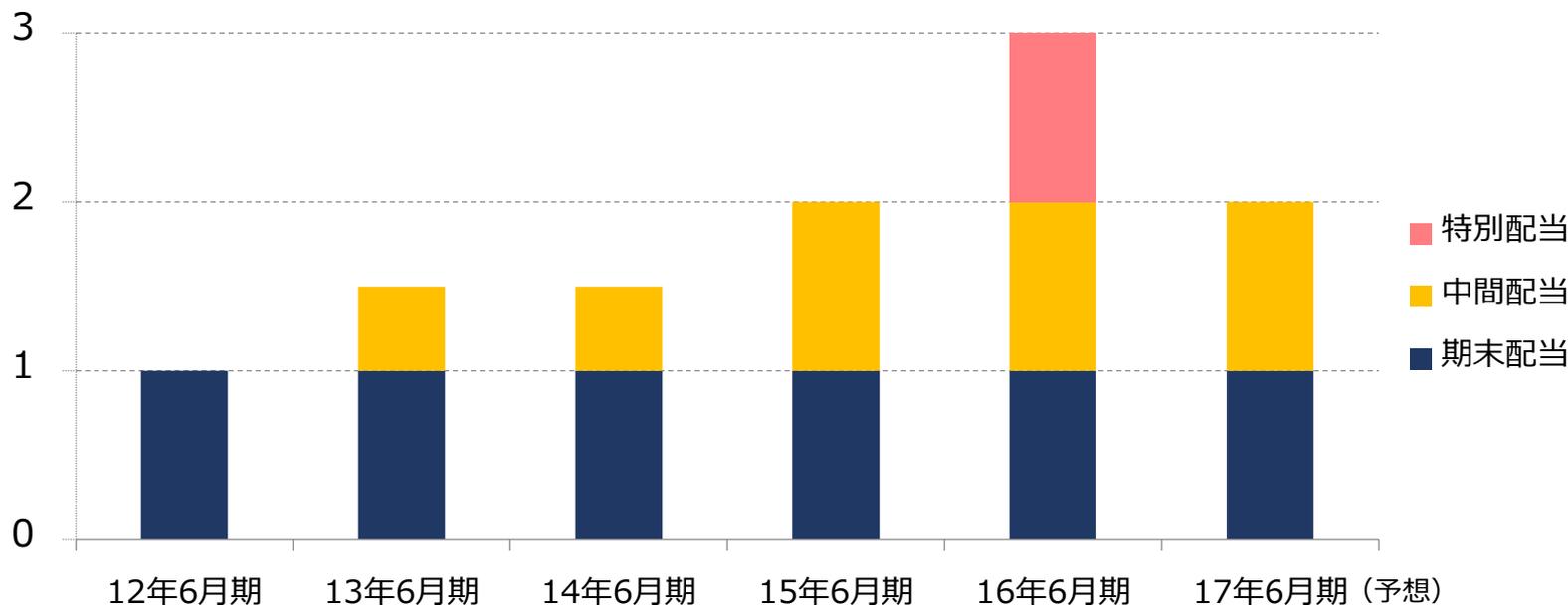
- ◆ 売上高：ブロードバンドタワーの売上増（クラウド、データ・ソリューション等）
ブランチアウト社のしまむら向け売上増
- ◆ 営業利益：主としてルディア社（赤字）が連結対象から持分法適用関連会社となった影響
- ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益：営業利益、経常利益の各段階利益で増益

- 継続的な安定配当を実施
→16年6月期は中間配当、期末配当に加え、特別配当1円を実施

- 株主優待の実施

(単位：円)

1株当たり配当金の推移



当社 I R に関するお問い合わせ TEL : 03-5202-4813 (直)



<http://www.bbtower.co.jp/>

本資料は、2016年6月期通期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2016年6月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証しまたは約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。



BroadBand Tower, Inc.